

みずほCustomer Desk Report 2023/03/13 号 (As of 2023/03/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.06
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.39	1.0586	144.33	1.1922	0.6589
SYD-NY High	136.99	1.0702	145.07	1.2112	0.6640
SYD-NY Low	134.12	1.0574	143.42	1.1910	0.6565
NY 5:00 PM	135.10	1.0639	143.76	1.2036	0.6582
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,909.64	▲ 345.22	日本2年債	▲0.0300%	▲0.0100%
NASDAQ	11,138.89	▲ 199.47	日本10年債	0.3900%	▲0.1100%
S&P	3,861.59	▲ 56.73	米国2年債	4.5904%	▲0.2786%
日経平均	28,143.97	▲ 479.18	米国5年債	3.9683%	▲0.2204%
TOPIX	2,031.58	▲ 39.51	米国10年債	3.7026%	▲0.2036%
シカゴ日経先物	27,595.00	▲ 675.00	独10年債	2.4940%	▲0.1400%
ロンドンFT	7,748.35	▲ 131.63	英10年債	3.6295%	▲0.1515%
DAX	15,427.97	▲ 205.24	豪10年債	3.6300%	▲0.0670%
ハンセン指数	19,319.92	▲ 605.82	USDJPY 1M Vol	12.89%	▲0.56%
上海総合	3,230.08	▲ 46.02	USDJPY 3M Vol	12.32%	▲0.13%
NY金	1,867.20	32.60	USDJPY 6M Vol	11.66%	0.17%
WTI	76.68	0.96	USDJPY 1M 25RR	▲1.68%	Yen Call Over
CRB指数	264.99	0.34	EURJPY 3M Vol	11.31%	0.04%
ドルインデックス	104.58	▲ 0.73	EURJPY 6M Vol	11.17%	0.20%

東京	東京時間のドル円は136.39レベルでオープン。前日から続くイベント前の調整売りから軟調推移となり、一時135.82まで下落。売りが一服すると136円近辺で動意を欠いた推移が続いていたが、正午前に日銀金融政策決定会合の結果が、おおむね政策の現状維持であることが発表。発表直後は円売りで反応し、一時136.98まで上昇したものの、米雇用統計を控えていることもあって勢いは続かず。その後は136円台後半で方向感なく推移し、結局136.76レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.76レベルでオープン。米雇用統計を午後に控え、新材料がない中で方向感なく推移。東京時間の始値近辺である136.10まで売られた後、米10年債利回りの上昇を伴って再度136.99まで上昇するも、結局136.71レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円台前半でスタート。東京時間では日銀の金融政策決定会合で現行の金融政策維持が発表され、緩和的政策が継続されるとの見方から円売りが先行し136.98まで急伸。その後、一時136.10付近まで反落するも欧州勢参入後に再びドルが買い戻され136.71レベルでNYオープン。朝方に発表された米2月雇用統計の発表では非農業部門雇用者数が予想を上回ったものの、失業率は予想以上に悪化したほか、平均時給も予想を下回り、賃金インフレ減速の見方が示され、ドル売りで反応。その後米地銀の経営破綻の影響を受け、米長期金利低下に伴いドル売りが加速しドル円は134.12まで下落。売り一巡後、ドルは買い戻され135.18まで戻す。午後は週末を控え、狭いレンジでの推移が続き、135.10レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台後半でスタート。海外時間では米雇用統計発表を控え、横ばいで推移し1.0594レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計の結果や米地銀の経営破綻を嫌気したドル売りが加速し一時1.0702まで上昇するも次第に反落。午後は動意乏しくなり、じり安で推移し1.0639レベルでクロス。

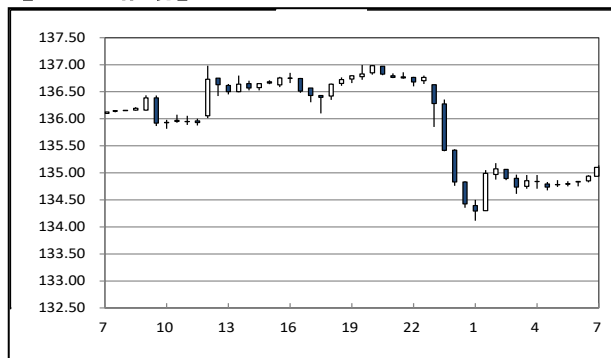
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月10日	-	日 日銀 金融政策決定会合	3月	10年物国債金利の目標を0%程度に据え置き
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月	311k 225k
	22:30	米 失業率	2月	3.6% 3.4%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月	0.2%/4.6% 0.3%/4.7%

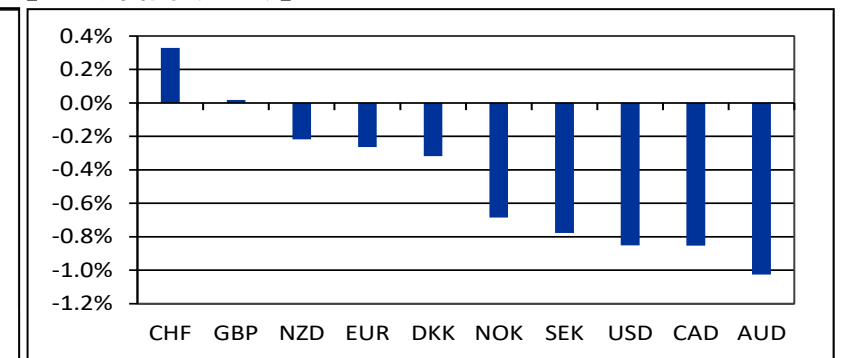
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
		主要経済指標・発言はなし		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.50-135.50	1.0620-1.0800	142.00-145.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は上昇後、急落する展開。アジア時間は136円台前半でオープン後、日銀の金融政策決定会合を控える中小動きの展開。同会合にて、政策維持の決定が発表されると、局所的に137円に迫る円安圧力となったが、徐々に消化し、米国時間の雇用統計を見据え様子見ムードに。海外時間に入り、発表された2月米雇用統計は、失業率および平均受給が市場予想対比劣後する結果となり、ドル売りの流れが顕在化。加えて、米シリコンバレー銀行の経営破綻のヘッドラインも相俟って、ドル円は134円台前半まで急落する等、ドル売り圧力に拍車をかける展開。その後一部水準を戻したが、結局135円台前半でクローズした。本日のドル円は上値の重い展開を想定。前週の米雇用統計の結果や米シリコンバレー銀行の破綻を踏まえ、足許のドル売り圧力は目先継続する見通し。先週の日米イベントの通過後、来週に控える米FOMCまでは神経質な相場展開を想定するが、局所的なヘッドラインリスクに振られる展開には要留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・大橋